

グローバル・ガバナンス学会  
第 10 回研究大会プログラム  
(3 月 23 日現在)  
於：名古屋大学情報学部棟 4 階

5 月 13 日 (土)

午前の部会セッション (10:00-12:00)

部会 1. 人道的ガバナンスの胎動？—戦争被災者・難民・少数民族問題と国際社会の関与—

会場：SIS4 教室

- ・ 上野友也 (岐阜大学) 「新しい安全保障と新しい集団安全保障—シリア内戦における戦争被災者の保護を事例として—」
- ・ 中山裕美 (東京外国語大学) 「突発事態とガバナンスの可変性—難民ガバナンスにおける多主体連携の構築—」
- ・ 玉井雅隆 (立命館大学) 「保護されないマイノリティとしての移民労働者と欧州—ナショナル・ガバナンスとグローバル・ガバナンスの狭間で—」
- ・ 討論者：柄谷利恵子 (関西大学)
- ・ 司会者：太田宏 (早稲田大学)

部会 2. EU の通商戦略と日 EU 関係の今後

会場：SIS2 教室

- ・ 高江洲睦子 (早稲田大学) 「EU と国際通商ガバナンス」
- ・ 明田ゆかり (外務省) 「持続可能な貿易ガバナンスの外縁と深さの模索：日 EU・FTA 交渉を手がかりに (仮)」
- ・ 討論者：武田健 (東海大学)
- ・ 司会者・討論者：白井陽一郎 (新潟国際情報大学)

午後の部会セッション (13:00-15:00)

部会 3. 自由論題部会

会場：SIS2 教室

- ・ 山川卓 (立命館大学) 「『ロマ包摂の十年』プロジェクトと国際的なマイノリティ保護」
- ・ 南波慧 (一橋大学) 「欧州域外国境における人道危機の安全保障化—海難救助活動とブローカーとの闘い—」
- ・ 原田徹 (同志社大学) 「EU ガバナンスと福祉国家改革の政治—年金・健康保険関連 EU 指令の政治過程での政党アクターの選好表出パターンを中心に—」
- ・ 討論者：福田耕治 (早稲田大学)
- ・ 司会者：市川颯 (関西学院大学)

#### 部会 4. 東アジアの「危機の 20 年」—戦間期国際制度の再検証

会場：SIS4 教室

- ・ 後藤春美（東京大学）「日本、国際連盟、イギリス帝国の対立点」
- ・ 三牧聖子（関西外国語大学）「アジアにおける「戦争違法化」の意味」
- ・ 討論者：滝口剛（大阪大学）
- ・ 司会者・討論者：菅英輝（京都外国語大学）

BBM（15:00-16:20：原則会員限定セッション）

会場：SIS3 教室

- ・ 基調講演・討論 中谷元（衆議院議員、前防衛大臣）「自衛隊のグローバルな意義」
- ・ 本多倫彬（キャノングローバル戦略研究所）「日本流平和構築アプローチの形成」
- ・ 宮下大夢（早稲田大学）「東南アジアでの積極的平和主義」
- ・ 司会者：平川幸子（早稲田大学）

共通論題 1.（16:30-18:30）「アクターとしてのトランプ政権」（市民公開セッション）

会場：SIS3 教室

- ・ 大矢根聡（同志社大学）「トランプ流『保護主義』の意義と国際的インパクト」
- ・ 中山俊宏（慶應義塾大学）「トランプ政権の対外政策」
- ・ 小尾美千代（南山大学）「環境・エネルギーからの視点」
- ・ 討論者：松井康浩（九州大学）
- ・ 司会者・討論者：山本武彦（早稲田大学）

5月14日（日）

午前の部会セッション（9:30-11:30）

部会 5. 冷戦期社会主義勢力の国際秩序観

会場：SIS2 教室

- ・ 神田豊隆（新潟大学）「社会民主主義勢力の国際関係史—社会主義インターナショナル・アジア社会党会議・日本社会党—」
- ・ 松村史紀（宇都宮大学）「中国とソ連の国際戦略—1950年代のアジア地域を中心に—」
- ・ 討論者：香川敏幸（慶應義塾大学）
- ・ 司会者・討論者：宮脇昇（立命館大学）

## 部会 6. 岐路に立つ国連システム

### 会場：SIS4 教室

- ・ 庄司真理子（敬愛大学）「紛争予防規範と平和構築規範の複合と交錯—国連におけるマルチステークホルダー・プロセスの生成過程を例として—」
- ・ 山田哲也（南山大学）「グローバル・ガバナンス論における安全保障の位相」
- ・ 安藤由香里（大阪大学）「国際機構は『人の移動』にどのように取り組んできたのか」
- ・ 討論者：山本慎一（香川大学）
- ・ 司会者・討論者：本多美樹（早稲田大学）

総会（11:30-12:15）

会場：SIS3 教室

ランチ懇親会（12:15-13:50）

会場：シェ・ジロー

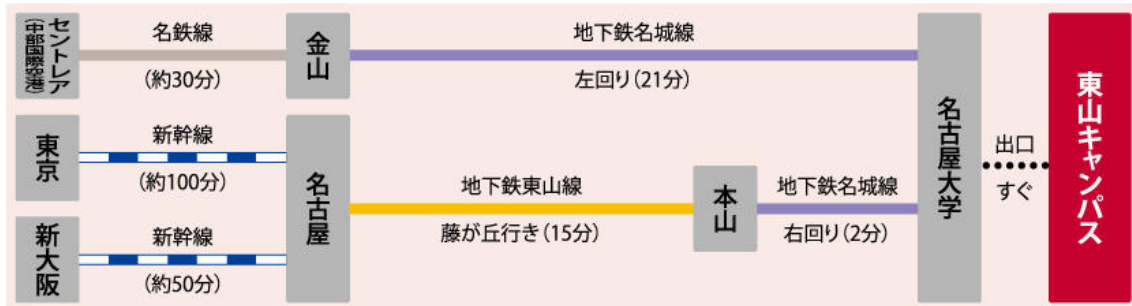
## 共通論題 2.（14:00-16:00）「ポピュリズム比較と国際秩序」（市民公開セッション）

### 会場：SIS3 教室

- ・ 前嶋和弘（上智大学）「トランプはポピュリストか—世論とアメリカ—」
- ・ 日下渉（名古屋大学）「『義賊』の民主主義は可能か—フィリピン、ドゥテルテ大統領の社会構築—」
- ・ 杉田弘毅（共同通信）「ポピュリズムと地政学」
- ・ 討論者：中村登志哉（名古屋大学）（ドイツの視点から）
- ・ 司会者・討論者：渡邊啓貴（東京外国語大学）（フランスの視点から）

## 交通アクセス

J R名古屋駅から地下鉄東山線、名城線乗継で名古屋大学駅へ約 25 分



## 学内アクセス

地下鉄名城線名古屋大学駅下車、会場の情報学部（旧情報文化学部）棟へは 1 番出入口から徒歩 3 分

